いわき民報
電話一八三番　印刷所　平市田町四四
印刷人　已克務平
発行人　鎌田象
日刊　但月曜を除く　一ケ月廿円　一部七十錢
発行所　いわき民報社

平炭局の機構決る

東京、名古屋、仙台に支局

國營法の實施に伴つて平市に札幌、福岡の三ケ所とともに既報地方石炭局が新設されるが、全局の機構は局長のもとに官房を設け庶務課を置き左の如く三部八課を設けるほか東京、名古屋、仙台に三支局をも開設する

◇監理部　監査課、經理課
◇勞務部　勞務課、厚生課
◇生産部　生産課、資材課、保安第一課

監理部は國營法施行一般及び會計事務を生産部は生産計畫實施關係一切、勞務部は勞務厚生事務の全般をみるもので、豫算は三月末、いよ〳〵二十三年度に入る直前に決められるが、三千三百万トン達成のため全局中心に官民業の二者一体でゆくことになつていて大きな期待をかけられている

局長には民間人選任

勤勞部長は勞働者側から

職長は百五十名程度の豫定であるが局長は大臣任命で原則として民間人から選ぶ、監理部長は官廳側からとるが、生産部長は經營者側から勞働者側から各一名ずつ、勤勞部長は勞働者側から今二月中に人選する、なお二級官以下は平地方炭鑛管理委員會と協力任命する段取りで、すべてはあくまでも官職型を脫いで民主化したものたらしめることになつている

農相表彰の 三森技師

家畜衛生功勞者で

十二日縣廳に開催された知事賞表彰式に石城農匹組合三森重雄技師は馬の傳染性貧血豫防施設實施二十四年を記念して家畜衛生關係功勞者として農林大臣より表彰を受けた

小名濱水素 解決か

きよう職場大會で

小名濱日本水素工場勞組の爭議はその後市三關係交渉十一日の交渉には縣側も局長課長

還元配給等を要請

日農石城協議會が十五日に

日農石城協議會では十五日午前十時から平田町縣農業會石城支部業務所に、各役員、支部長、書記長、會計、執行委員、農地委員會役員その他專門委員等を網羅しての協議會を開いて、去る五日の縣連常任執行委員會の報告後三月開く全國大會對策を始め供出完遂のために保有米不足を生ぜし農家に對する還元配給並に農地委員會と農地に關する諸問題について、農林大臣や縣知事に要請すること、その他農務組設立、家畜飼料、農業所得稅査定、縣連協議會支部財政、臨時大會開催の諸件について懇談を遂げる

郡連青が 文化祭を

郡連合青年會文化祭は來る十五日午前十時から磐女で開催する

平籠球クの 陣容決る

會長には瀧口磐氏

去る七日結成された平籠球クラブの役員は左の如くこの程決つた

◇會長瀧口磐◇副會長風間寛雄、藤野博◇鈴木新吾◇忠雄、高橋常利、相川文雄

神谷農組 講習會

神谷農民組合七條ナメシ皮講習會は十六日から二十一日まで農試分場で毎日午前九時から開く、講習課目及講師左の通り

△有畜農業について（齋藤敬吉農業改良係長）▽食生活改善（縣厚生課栄養係長）△ナメシ皮（郡農業會職員）、神谷農組長志賀傳吉氏）

民報論壇

見逃すな 遊興飲食稅

料飲店が昨年七月休業狀態に入る前、平市に於て徴收した遊興飲食稅が月一十五万円を下らずその半額が縣稅で半額が市稅であつたこの遊興飲食稅で市吏員の全俸給が支拂われたというのであるから市の財源としては有難いものであつた、然るに社會黨員班內閣の出現で料飲店は閉ざす狀態に陷りこの稅金がとれなくなつたので市の百所に大きな影響を與え今日に至つているが今度勤疲の花代一時間百円に對し一割五分稅百五十円を臨時徴收して稅收入を上げることになつた、かりに藝妓一人が一日平均三時間稼ぐとすればその稅金が四百五十円、月一万三千五百円、市內の藝妓二十人とすれば月四十万五千円上る勘定である、然し現在の料理屋は貸席業で料理は出せないことになつているから遊興客も減少も月に四十万の遊興稅徴收は至難であろう

市內の料理業組合二十三軒、飲食店組合九十軒の生存權を食料品の不足という理由から極性にしたが、政治の妙諦は日本人の誰れもが生き得る樣にすることで若しも料飲業の再開が許されるとすれば料飲屋から上る遊興飲食稅は月九十万円料品の放縮を餓死にすべき家庭者の配給量を減らさないようにすることが必要なだけである（田原）

いわき寸言

◎名前に常用漢字以外はご法度、讀みづらい名の無くなることは便利

◎中央では政權をめぐつて、田舍では商店でのヘツタ〳〵がご愛嬌なこと

◎商店クジ屋さんの言分ご尤政府の何々クジも一考すべきかな

小名濱消防團の出初式

小名濱町の消防團出初式は十六日擧行する自治警察發足後初の出初式である

馬上勝司、門馬久男

なお同チームと磐女に國女戰を展開する豫定

上旬の出炭見事黑字

ものをいつた東北各鑛の努力

常磐炭田二月上旬の出炭は東北管內六万四千六百トン東部二万四千九百トンの目標に對して東北は六万七千九百五十四トンの實績で三千三百五十四トンの黑字を示したに對し、東部は二万三千七百五十九トンで千百四十一トンの赤字ながら合計では東北が東部の赤字をカバーして二千六百十三トンの黑字となり、遂行率一〇二%という極めてよいスベり出しを示した、兩管內の主要鑛の成績は次の通り

▲東北管內　▲常磐一七、六四二▲古河好間八、一五六▲大日本勿來五、九一八▲小田一、八八八▲磐川九九一▲矢鄕六六五▲壽八九八▲戸部七三九▲上山田一、五七二赤井一、九五五▲福島六九一▲三松六二六▲小野田七二〇▲黑田一、〇七五▲三和四二八▲田川二三〇〇

▲東部管內　▲中鄕三、七一五▲神ノ山一、六三二▲磯原七五二▲高萩四、五四八▲倫彩一、四二五▲重內二、一二七▲山口一、七三〇▲山二一、〇二二▲七田六八八▲常豐合同一、八八五▲關本一、一四五

一般衣類
即金買受
（電96）
附近期間にて特別薄利にて買受致します
ご相談に御申込により御買受の御
大崎屋
平銀座通り紅小路

次週上映
路
「彼の記憶回復を待ち空しく過ぎる三年間の生活を探し求める感動のラブロマンス（グリアガースン）
（ロナルド、コールマン）
（マーヴイン、ルロイの傑作
不朽の
旅
「記憶を失える
心
の
ながらくお待せ致しました
十七日より　聚樂館

性病科
電話828番
平市鎌田町
矢吹醫院

昭和二十一年八月一日 第三種郵便物認可

うなぎ談義

茂木宏哉

石麿呂にわれ物申す夏やせに
よしといふものそむなぎ
とり召せ

萬葉集にある大伴家持の和歌である。むなぎは鰻であつて大伴家持が親友に鰻を食えとすゝめていることは面白い。そのころの鰻料理はどうしたのか分らないが、鰻が滋養に富む食品であつたことは既に奈良朝時代に知られていたことが分る。

醫者のいうようなことだがどうして夏やせするかというに暑氣のために胃腸の働きが弱つて食慾が減退し、かつて加えて体内の脂肪が酸化燃燒して減るためにやせるのである。そればかりでなく、元氣がなくなり、何をやつても早く疲労する。だから脂肪と蛋白質に富む物を食べて補給すれば身体が弱らない。

土用の丑の日に鰻を食べる習慣は徳川中期以後らしいことが「大保佳話」にあるが、これは何も此の日と限つたことではないのに、ひとつの行事として丑の日と鰻を結びつけている。

福島市界隈では『牛の日だで、牛を食つたらいゝべした―』と、丑の日には牛肉が多く賣れる。脂肪分と蛋白質を需めるのだつたら必ずしも鰻とは限らないので、地方によつては鰻が充分に間に合わないのでドジョウを食べる。

鰻とドジョウと、どれほど榮養價が違うか、東京衛生試驗所で調査した結果をここに轉記すると次の通りである

	うなぎ	どじよう
蛋白質	一八、〇九	一八、四三
脂肪	一一、五三	二、六九
灰分	一、一四	一、五六
百グラムの熱量	一七八カロリー	九八カロリー

ドジョウは脂肪分が劣るだけで、其他の點はひどくそん色がない。そして双方とも多量のビタミンAを含有している。人間の胃袋に入つてからの消化時間は鰻百グラムで四時間十五分かゝるのに、ドジョウは三時間三十六分である時だつたら、却つてドジョウの方がいゝようである。

うなぎは身体が衰弱していた場合、消耗疾患性などには効果がある。そんなに藥用的効果があるのなら蒲燒などにせずに、さしみにして食べたらどうだろうと云つた人があるが、生では血液中に毒素があるので不可ないそうである。

うなぎの蒲燒は料理の上からいうと日本特有のもので、これを賞美して食べる國は世界中殆どない。日本以外が鰻をたべるのは伊太利であるが日本の蒲燒のようなわけではなく、ブツ切りのくん製である。燕の巣からネズミの子まで食べる料理の國中華民國でさえ鰻には手を出さない。西歐諸國でうなぎを食用にしないのは舊約聖書にモーゼの訓えとして『うなぎは無鱗魚故たべるべからず』とあるためであろう。

うなぎには日本、アメリカ、ヨーロッパと大体三つの種類があり、日本のうな公はアメリカやヨーロッパのそれよりもひれと背骨の數が多い。ヨーロッパのうなぎは、鰻の寢床と稱されている細長い地中海で産卵し、それが追々成育して親鰻になると川に上り、七八年間川で生活すると再び川を下つて海に入り、産卵して死んでしまうのだが、老衰自然死のうなぎはまだ見た人がいない。

ヨーロッパ鰻の發生地は西印度諸島の東、ベルダム群島の南方ではないかとの説があるが、日本うなぎの繁殖地はまだ不明である。入江鈴藏氏の『鰻通』によると日本鰻の發生地はたぶん遠州沖邊であろうといゝ、また九州西國の沖合三四十里の海底がなどゝ想像している。

『そりや、濱名湖さ』と云つた人があつたが、本はなしにもならぬ鰻の智識と申すほかはない。鹽屋岬燈台のある福島縣石城郡豊間村の沼の内辨天境内にある賢沼には、われわれの腕くらい太い鰻が無數にいたが、今でもあのまゝだろうか。境内の茶店で賣つていた鮭の罐詰をあけて木橋の上から投げ與えると、ラグビー選手のタックルに似てか上に重なり合つて奪い合つた。こゝの辨天様は附近漁師の信仰が厚く、毎年初漁の鰹は沼の主に獻じて大漁を祈ると傳えられているが、魚類については玄人の筈の漁師でさえ、こゝの鰻を見ているせいか、うなぎは淡水魚だと思いこんでいる者もある。

賢沼にいるような、あんな太いのになると[illegible]のようで食う氣にもなれないが、大きいのは三四十年も經つているようか、ちよつと素人には見當もつかない。普通うなぎの壽命は十五六年だといわれているが、フランスのデスマレスという人が飼育したのは四十年で一米四〇センチに達したそうだ。

うなぎの話では、むかし深川でうなぎ屋『みやかわ』を開業していた、宮川曼魚先生が當代第一流であろうが、まれに私のような素人の漫筆もメソの蒲燒くらえには味わつてもらえよう

はつた、さアはつた

街は露店クジではん濫

三角クジの人氣もさらわる

サーカスの賑かなバンド、裸体美人の公開、滿員の映畫館、幾年ぶりかで復活した商店街恒例の福貸付大賣出し―と新正月の平市本通りは近郷から押掛けた人々の群で混雑を極めたが中でも三角クジの賣出しと併行して露店クジの賑いは格別、政府の『クジ政策』に負けず劣らずと觸根を傾けて本通りの人氣を漂つた格好だつた、以下はその『クジ景氣』の解剖記である、當るも八け、當らぬも八けのクジ景氣―『サアーどこだサアーどこだ』―この解剖記事に當つたらお慰み!

一日四萬圓の荒稼ぎ

九割は旅人の手に入つたか

クジといつても中々商い、御存知のタライ廻しはもとよりコイト傳助、文廻し、もみ(?播)ヒヒ(かんじんより)パンドハピン(智恩の輪)とあつて相當種類も多い業者も石城の中は景氣が良いと見てか北は仙台、福島、新潟、北海道、南は東京から詰掛け商店に邪魔にならぬ本通りの軒下なり至るところで開業、その數もざつと四十組、うち地元の露店商は一割內外で旅の商賣人がその大半を獨占している、このクジ開業に全國でも大親分とか申される向が六、七人も來平したとかいうから凄い力の入れ方だ、さてこのクジの儲けはどうか?元日から三日間で一人十万円を目標に張込んだが豫定もやや狂つて平均一日二万円と見れば先づ大差ない當り組だろう、三日間六万円に吃驚してはまだ早い、最高一日一人四万円も荒稼ぎをした者もあるはずだとクジ屋の小父さんが語つていた、一人三日間で平均六万円とすれば四十組で二百四十万円、それの九割が旅人の手に渡つたとあつては地元の人たちもとんだ貧乏クジを引いた者だという計算になる、もつとも正月は農村からの人出が多いしお百姓の成金さんもだいぶ懐で金を絞られたが街の者は容易に手を出さない『―そうくしてやがるんだ―ケチな欲の皮の深い奴に限つて引かからないらしい』一括三百円位が平均百円から一同の掛金らしい

裸になつた親爺殿

話題 悲劇の數々

或る業者の話では最高二千円も張つた親父があつたとか、現金どころか靴までぬいて素足になる騒ぎやら更に時計とオーバを取られて警察に泣き込んだ者、買物に來た子供づれの女が百円半分手を出してお買物品をそつくり代金の代りに渡したとか、タライ廻しに熱中した某の集金係が公金をすつかり使い込んで仕舞つたとか、家屋を賣拂つて財産をなくしたとか、街の噂は果して針小棒大的なのかどうかは別として仲々うるさいウルサイ!

一方的な取締りは御免

クジ屋の言分もまた御尤

一寸の虫にも五分の魂―クジ屋さんの言分はこうだ―こんな商賣が長く續くとは思つていない、吾々も食うために働いているだけだ、若し警察側で取締るならば公平に扱つて貰いたい、大体平ではタライ廻しを許しているのかどうか判らぬが店舗を構えて營業だ『やつていかぬ』というなら吾々は止めよう、その場合は店舗を持つタライ廻しも止めさせて貰いたい、一方的な取締りであるならば協力出來ない、遊戯と賭博をはつきり區別して街から『興味』を追放しないよう手を打つこと勿論クジそのものが惡いのかどうかは良く検討して政府も同じ『クジ政策』に力を入れているのだから慎重に善處して貰いたい

だがクジ屋も惱みあり

クジ屋には決つて二、三人のオドリがいる、この儲けはオドリに日給(最近の物價高で百円以上が相場らしい)を拂い殘つた金で宿料、湯銭を濟ませ國民のクジ熱とインフレの波にうまく便乘して歩く譯だが外側で見た程樂な商賣でもないらしい、もつとも旅から旅へ渡り渡世の者は思切つた勝負もあえて辭さないが生活苦からこの世界へ轉向したものはカタギへの復歸と天候取締り、街の景氣など刻々動く時勢の指針に過敏であり今後の見透しと足を洗うのに苦慮しているようだつた

磐女出身の
國井綾子が
主演する巨匠
成瀬巳喜男の
異色篇!!
春のめざめ
待望の登場
▲十七日より公開

只今上映中
東寶大レヴュー映畫
歌、笑、踊り、池部
若山 TDA 全員出演
けんらん豪華篇
春の饗宴
内郷 第二イワキ 電話十二番

營業種目
家具・事務用机及建具
一般木工品類製造
平木工株式會社
本社 平市田町26 電平71・455・772
工場 平市[illegible]町18 電(平389)